

NPO（特定非営利活動法人）団塊のノーブレス・オブリージュ（以下DNO）

## 2006年度（2006年8月～2007年3月）事業報告

2006年度は、DNO発足の年であり、体制の整備、理念の普及、既存団体との連携を中心に活動いたしました。具体的活動は以下の通りです。

1. 地球感謝祭2006参加 2006年9月23日  
「高齢社会を元気に楽しく生きる」  
「実験店舗」模擬店 『早稲田健康食品センター』 街コミュニティ 参画  
「団塊世代と早大生との世代間対話集会」
2. ホームページの開設とXoopsの導入 2006年8月
3. マスコミ取材  
NHK教育 ETV特集 団塊が日本を変える！？ 9月30日放送  
NHK総合 NHKスペシャル「1000人に聞く団塊の素顔」1月8日放送  
NHK総合 おはよう日本 ニュース 1月20日放送  
NHK総合 にほんのこれから 団塊大量退職へ 2月10日放送
4. ネットディベート第1弾「団塊の居場所研究」2006年10月～12月
5. ネットディベート第2弾「Mr.D vs Mrs.団塊熟年夫婦のこれから」2007年3月～
6. 団塊世代1万人インターネット・アンケート調査 2006年12月～2007年3月
7. DNOマスタープラン（総務省プロジェクト）の作成 2007年2月～3月
8. 定期講習会の開催
9. シーズ交換会第1回 2007年1月13日
10. ネットワークツール紹介セミナー第1回 2007年3月24日
11. 訪問ツアー（つくばフリータースクール）2007年2月3日
12. ニカフェとの連携（学生とのコラボ）2006年11月～
13. 自主ゼミ活動（ワーキングゼミ 起業ゼミ NPOゼミ）2006年8月～

## 1. 地球感謝祭 2006 参加 2006 年 9 月 23 日

早稲田大学は、1996 年 8 月に大学キャンパスを地域の住民に開放し、この年より環境をテーマにした「エコサマーフェスティバル」が始まりましたが、その後 2000 年から地球に感謝する気持ちをこめて名称を「地球感謝祭」と改め、時期も 9 月に変え、学生、商店街、ボランティア団体が融合する地域の一大イベントに発展、現在では来場者数 3 万人、参加企画数 100、参加団体数 80、企画参加者 1000 人の大規模なお祭りとして広がりました。DNO は発足の日 2006 年 9 月 23 日に開かれた地球感謝祭 2006 から多くの企画・展示に参加いたしました。

### ○ 「高齢社会を元気に楽しく生きる」

社会人学習サークル「ワセダ・カルチュラタン」協賛による、「高齢社会を元気に楽しく生きる」が小野講堂において実施されました。

- 第 1 部『映画と講演』 \*映画 「広がれアサザも夢 ー百年後にトキが舞う霞ヶ浦をー」  
語り/竹下景子氏 \*講演 環境映画制作監督 岩崎 雅典氏
- 第 2 部『皆で懐かしい唱歌を歌おう』  
指導/キーボード 前田 キヨコ氏

### ○ 「実験店舗」

早稲田大学西早稲田キャンパス内では、DNO 起業ゼミメンバーにより(各自主ゼミの方々も応援)、模擬店、街コミュニティへの出店が行われました。早稲田モデル (50 代以上サラリーマン起業支援 早稲田の街モデル) の重要な要素である「実験店舗」が実証され、その有効性が再認識されました。

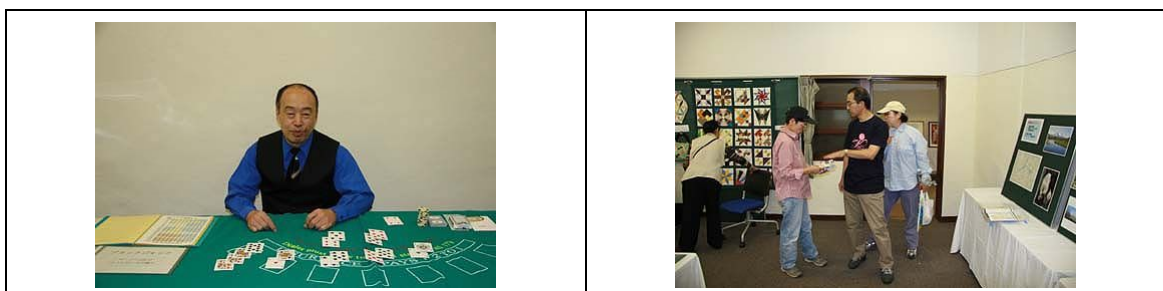
### ○ 模擬店 『早稲田健康食品センター』

- 1 澁谷コーナー：玄米、雑穀販売
- 2 橋本コーナー：健康茶、アイスクリーム販売
- 3 開田コーナー：どんこスペシャルサンド、有機たまねぎ、知的障害者作品のコーヒーカップ等販売
- 4 黒木コーナー：ナリネ菌（乳酸菌の一種）販売
- 5 庄村コーナー：健康酢ドリンク（ラズベリー、ブルーベリー）販売
- 6 竹元コーナー：りんごジュース、魔法の水販売



### ○ 街コミュニティ

- 1 川股コーナー『ジーさんカジノ』
- 2 小花コーナー『尾瀬探訪展示』
- 3 酒寄コーナー『キルト展示』



## ○ 「団塊世代と早大生との世代間対話集会」

NPO 法人「団塊のノーブレス・オブリージュ」発足記念パネルディスカッション

「団塊世代と早大生との世代間対話集会」を実施いたしました。これから高齢者として支えられる側にまわる団塊世代と、支える側に回る大学生が直接コミュニケーションを持つことにより新しいコラボレーションの可能性をさぐる 1 時間 20 分でした。今まで話したこともない世代が直接対話することにより新しい何か生まれればよいと今後が期待されます。



## 2. ホームページ開設と Xoops の導入 2006 年 8 月

対外的情報発信メディアとして <http://www.dankai.jp/> にホームページを開設、現在（2007 年 5 月）迄に 13,267 件のユニークユーザを迎えており、このホームページを通じて NHK、各新聞その他マスコミが取材に訪れています。また会員用メディアとして Xoops を導入し、10 種類以上のメーリングリストを開設、アンケートの集計、フォーラムの開設、スケジュール管理、共有の文書管理、その他 DNO 情報コミュニケーションの中核として機能しております。

## 3. マスコミ取材

団塊の先頭集団が 2007 年に 60 歳になるいわゆる「団塊 2007 年問題」に向け、マスコミは連日この話題を大きく取り上げ、団塊を代表する団体として DNO は発足から 3 月末まで 17 件の取材を受けております。

NHK 教育 ETV 特集 「団塊が日本を変える！？」 9 月 30 日放送

NHK 総合 NHK スペシャル「1000人に聞く団塊の素顔」1月8日放送

NHK 総合 おはよう日本 ニュース 1月20日放送

NHK 総合 にほんのこれから 「団塊大量退職へ」 2月10日放送

米国 CBS 2006 年 12 月に CBS から「日本のベビーブーマー」としての取材が入り、2007 年 1 月全米で放映されました。

その他、日経 2 回、読売、毎日、産経、東京、共同通信、ニッカンゲンダイ、文芸春秋、読売ウィークリー、日経スタイル、関西 TV から取材を受けました。

### 「団塊が日本を変える！？」NHK 教育テレビ ETV 特集 9 月 30 日放送

いよいよ 2007 年から大量退職が始まる団塊世代。年金・保険を食いつぶす「お荷物」になるのか、それとも新しい老後の生き方を切り開く「パイオニア」になれるのか？ 3 時間たっぷり、DNO が団塊世代の代表に選ばれ、大隈通り商店街のママハウスから生中継で参加いたしました。トータル 20 分近

くがママハウス中継に当てられ、団塊の考え方として全国に放送されました。反響は大きく、DNO のホームページはその時間、アクセスが 300 件近く増加いたしました。

## NHK 総合 おはよう日本 ニュース 1月20日放送



## 「団塊大量退職へ」 NHK 総合テレビ 「にほんのこれから」 2月10日放送



団塊世代は定年後もこれまで同様、日本の経済成長の原動力となり続けるのか？それとも彼らの老後を支えるために、現役世代の負担がますます重くなる時代に突入するのか？団塊世代が定年後、どんな生き方をしたら日本のためになるのか？団塊世代と様々な年代の方を交える議論に取材を受け、番組に参加いたしました。

### 4. ネットディベート第1弾「団塊の居場所研究」

団塊がこれからどう生きるか、またその前提となるサラリーマン時代をどう生きてきたかディベートする「団塊の居場所研究」がネットディベートとして日本で初めて行われました。アクセス数 8,715 件、発言数 86 件、18 スレッド、7 フォーラムということで無事終了いたしました。サラリーマンが自分の過去の心の奥を告白し、これからどう生きるか重い課題に挑戦し、とても普段口にはできない本音が聞け衝撃を受けたと好評です。何回読んでも心につきささる重い課題となっております。

### 5. ネットディベート第2弾「Mr.D vs Mrs.団塊 熟年夫婦のこれから」

「団塊の居場所」に続くネットディベート第2弾は「Mr.D vs Mrs.団塊 熟年夫婦のこれから」として3月1日よりスタートいたしました。団塊が家に還った時、遭遇する夫と妻の関係を「Mr.D vs Mrs.団塊 熟年夫婦のこれから」としてネットでディベート、アクセス数 7,167 件、タイトル数 7 件、発言数 172 件で現在進行中です。夫である団塊のサラリーマンが順次家庭へ比重を移すことで、30年くらい遠かった距離が一挙に縮まる団塊夫婦の本音に、夫が・・・妻が・・・お互いに切り込んでおります。

## <最新タイトル>

[定年を機会に目線を変えるの巻]

[定年後かみさん何求めているの巻]

[「ずばり言うわよ」って細木流の巻]

[定年の日の虚無感の巻]

[やっかいなことは妻にの巻]

[息子に説教されるの巻]

[巻き込まないでよねの巻]

## 6. 団塊世代1万人インターネット・アンケート調査

2006年12月から団塊世代1万人アンケートを実施いたしました。その結果は興味深いもので、その一部をご紹介します。

### 設問

(4)「団塊と呼ばれることについて」40%がその通りだと感じて違和感を感じていない。「不愉快な思いをする」というのは7.8%と少数派なのが意外な結果であった。この1年マスコミが2007年問題として団塊を前向きに取り上げた結果でもあろう。

(5)「団塊がマスコミで注目されていること」に対しては、「今後の情報として役に立つ」とする満足派が40%、「社会的な仕組み構築を掘り下げて欲しい」という不満派が54%、団塊の資産を狙う企業のターゲットと捉える嫌悪派が35%となった。

(8)「サラリーマン時代「おおやけ」に関わらなかったことが今の社会のひずみになっていると思うか」との質問に「そう思う」と「まあそう思う」をあわせると76%の方々が反省している。

(9)「団塊の世代は定年後も社会を支えなければならないと思うか」という質問に対し「そう思う」と「余裕があればそうすべき」をあわせると81%の方が支えていくべきと考えている。

(10)「定年後会社が変わる居場所が必要か」という設問では「必要と思う」「あればいいと思う」あわせて80%が必要と考えているが、その居場所の具体的なイメージは各人各様で分散している。強いていえば「多少収入のあるNPO」が60%と多い。個人的にどのような生き方をするかによりまちまちになると思われる。

(13)「団塊世代が地域などの社会活動に携わるときの仕組み」についてもイメージが分散しており、それぞれがどういう活動をしたいのかにより違ってくるのだと思われる。

## 7. DNO マスタープラン（総務省プロジェクト）の作成

2月から3月の2ヶ月間をかけてDNOの未来予想図として添付のマスタープランを作成いたしました。

## 8. 定期講習会の開催

DNOでは常時3本の定期講習会を走らせております。

(1) シーズ交換会（主催 開田）1月に始まる四半期

(2) ネットワークツール紹介セミナー（主催兼講師 藤原他）3月に始まる隔月

(3) 新入会員歓迎セミナー（主催 櫻井）6月に始まる四半期

## 9. シーズ交換会第1回 2007年1月13日(土)

2007年1月13日(土)17:00～19:00、事業シーズ（事業の種）交換会を実施いたしました。団塊世代が定年後何をするか、営利事業、NPO事業、ボランティア事業それぞれシーズを交換して種を植え、芽を出させ、育て、花を咲かそうという試みです。半年たって早くも第1回の種からベトナムでの外国人学生に日本語でJavaを教え日本で技術者として働いてもらおうというプロジェクトが現実になり、団塊のビジネス経験者が現地で10月ころより3ヶ月間教育に携わるプログラムがスタートする予定です。また実験店舗として6月ころからIT講習もスタートする予定です。あわせて4つのシーズが花開くことになりそうです。

### <講演内容>

- ☆理事長年頭のご挨拶と団塊世代による地域パートナーシップセンター 桜井 理事長
- ☆NPO 活動サポート IT インフラ 藤原 忠 氏
- ☆Neco の会社設立事例 市川 勤 氏
- ☆団塊キッズニア構想 内田 靖司 氏
- ☆パソコン教室の追加講座 川股 初己 氏
- ☆実験店舗 健康カジノ川股 初己 氏
- ☆サラリーマン起業の早稲田の街モデル（起業チーム） 開田 卓二 氏
- ☆125 周年イベント「大学と街と学生のタッチパネルネットワーク」 橋本 武司 氏
- ☆外国人留学生のインターンシップ支援・就職支援 小野 武彦 氏
- ☆ Java によるフリーター就活支援 河合 通之 氏



## 10. ネットワークツール紹介セミナー

DNO 会員のためのグループウェア Xoops を使っていただくために、隔月で使い方の講習会を開催しています。さらに Skype とかブログとかメーリングリストについても実際のデモンストレーションをまじえて会員のネットワークスキル向上を援助しております。

## 11. 訪問ツアー

DNO では、同じ方向性を持つ他の団体との連携を重視し、関心のある事業を行っている団体を訪問するツアーを適時組んでおります。2007 年 2 月 3 日つくばのフリータースクール「電腦郷」を訪れました。

## 12. ニカフェとの連携（学生とのコラボ）

地球感謝祭での世代間対話集会でニカフェ（当時学生達は起業準備中でニカフェという名称も決まっておりましたが）の創立メンバーと対話を始め、11 月開店後は、交歓を目的として 3～4 回連携を行っております。現在のところ学生の自立心を削がないようにと積極的に関わることはしていません。

## 13. 自主ゼミ活動

ワーキングゼミ（D プロ）、起業ゼミ、NPO ゼミの 3 ゼミが月 1 回の会合を開き、活発に活動を続けております。

以上